

01 繁栄企業の成功要因を探る

自動認識技術を活用したプロモーション

▶ 世界中で人気のビールブランドA社が新商品のプロモーションのために、ネット語学学習サービスB社とコラボした自動販売機をアメリカ・ラスベガスに設置した。

利用者が、自販機に向かってその新商品をくださいとスペイン語で言うと自動的に音声認識。正しい発音と認定されると、取出口にそのビールが1本無料で出てくる。ダメな場合はB社のプレミアム版のクーポンがもらえる。スペイン語はA社がメキシコをルーツに持つことにちなむ。

短い文章で簡単なようだが発音は意外と難しく、苦戦して何度も挑戦する人が続出した。A社とB社どちらのPRにもなった。

▶ 日本の自動車メーカーがヨーロッパで販売を始めた高級車には、エアコンやシートヒーターを乗員一人ひとりに合わせて調節して快適に過ごせる機能が搭載されている。そのCMがサイトで公開されて話題となった。

スマホやパソコンの顔認証機能で、リラックスやストレス、困惑などの感情を判定して音楽や色調などが変化する。CMが進む間に表情が変わるとそれに伴って映像も変化する。クルマと同様、一人ひとりに合わせたCMであった。

02 このホテルに学べ!

平安絵巻、オフサイトミーティングホテルのアイデアプラン

▶ 徳島県阿波市の山中に、平安貴族の屋敷のような寝殿造りの温泉旅館がある。

広さ50帖以上の客室は御簾で仕切られ、平安絵巻のようだ。灯り、御簾など細部まで時代考証に基づいている。部屋着は公家の普段着「狩衣」に似たもので、有料で十二単などの本格的な平安装束の着付け体験もできる。お香や、扇を飛ばして的に当てる投扇興などの平安遊びも体験可能。

優雅な宿で、インスタ映えすると人気になっている。

▶ アウトドアなど、オフィスを離れた非日常空間での会議はリフレッシュできて、新しいアイデアが浮かびやすい。それを手軽にできるプランを岐阜県岐阜市のホテルが始めた。

会場は11階テラス。参加者で大型テントを設営し、デスクを運び入れてオフサイトミーティングができる。夜はそこでバーベキューが楽しめる。焚火もできて、火を囲んでのトークも面白い。宿泊は客室で、朝食はレストランのbuffetだ。バーベキューの代わりにホットサンドとハンドドリップコーヒーを淹れる日帰りプランもある。



Check! 要チェック! 進化するプロモーション手法に必要な基礎知識

▶ ネット時代に力を発揮するダイレクトメール そのメリットと効果的な方法(後編)

PRの手段としてEメールやSNSが多く使われる今、郵便によるダイレクトメール(DM)が再評価されている。一般社団法人日本ダイレクトメール協会「DMメディア実態調査2021」によると、馴染みのある店や会社からのDMは約9割も読まれている。しかし、利用経験のない会社からのDMは開封されず捨てられるものも多い。これらの開封率を上げるにはどうすればいいか。

● メリットがあると開封したくなる

この「DMメディア実態調査2021」によると、ダイレクトメールに特売・セール・キャンペーンの案内が同封されている場合、購入・利用経験がない店からのものでも、51.1%の人が開封・閲読すると答えている。つまり、利用経験のない人へのダイレクトメールの開封率を高めるためには、特売やセールなどのメリットをつけて、それを明示することがポイントになる。

例えば、封筒や圧着はがきに「クーポン券のお知らせ」「キャンペーン実施中!」など内容を具体的に記載する。さらに、「今だけ半額キャンペーン実施中!」などと少し詳しく明示すると開封されやすくなるだろう。

また、早く開封してもらいたい場合は、「先着〇〇限定!」や「〇月〇日まで」と数量や期間限定にする方法がある。その場合も封筒の外からはっきりとわかるようにする必要がある。

● ノベルティ同封も効果的

さらに、送り主の利用経験の有無に関わらず、DMを開封されやすくする手段としてノベルティ(販促物)を同封する方法がある。封筒に膨らみがあると、受け取った人は「何が入っている?」と気になったり、内容物がわかる場合は「捨てるのはもったない」と思ったりして封筒を開けてみたくなるからだ。

昔からノベルティとしてボールペンが同封されるが、最近ではウィズコロナでマスクケースも使われるようだ。季節的なものでは、うちわやカレンダーも使えるだろう。

これらの中身を窓空き封筒や透明の封筒で少し見えるようにしておくと、興味を惹きつけることができ開封につながりやすくなる。

デジタル化が進む世の中だが、印刷物のダイレクトメールが活躍できる場面はまだまだありそうだ。